

### 子どもの笑顔がうれしい

#### パパと遊ぼう

遊びを通して子どもとふれ合い、お父さんにもっと子育てを楽しんでもらおうと1月31日、パパと遊ぼうがサンアートで開催されました。NPO法人「けんこうのわ碧の木」の有本征世さんを講師に迎え「ハイハイ」をテーマに行われたこの催し。参加した31組70人の親子は、体を使ったトンネル遊びなどで楽しいひとときを過ごしました。お父さんの一人は「子どもの笑顔がたくさん見られてうれしいです。今日覚えた遊びを家でもやってみます」と楽しそうでした。



### 万博で元気をアピール

#### 愛・地球博に向けた意見交換会

2005年3月に開幕する愛・地球博。その愛知県パビリオンの総合プロデューサーを務める山根一真さんが三好町を訪れ1月28日、久野知英町長ほか各団体の代表者10人と、サンアートで意見交換会を行いました。各市町村の特色やアイデアをつかみ、万博に生かそうと県内市町村で実施しているこの意見交換会。具体的な意見が次々に生まれ、山根さんは「万博を通して、ぜひ三好町が元気な町であることをアピールしてください」と呼び掛けました。



### みその出来上がりが楽しみ

#### みそ作り教室

地元の大豆を使って、みそ作りを体験してもらおうと1月30日、みそ作り教室がさんさんの郷で開かれました。さんさんクラブ三百目の皆さんが主催するふれあい講座の一つとして毎年開催されているこの講座。12人の参加者は、大豆と麹を混ぜるなど、いくつかの工程を手際よくこなしていました。参加した女性の一人は「手作りのみそはおいしいと聞いたので参加しました。みそを食べることができ秋ごろが楽しみだわ」と丹念にみそを混ぜ合わせていました。



### 大空高く舞い上がれ

#### 南中学校たこ揚げ大会

たこ揚げ大会が1月20日に南中学校で行われました。これは、昭和59年の開校以来、毎年開催されている恒例行事。20回目となる今年、クラスごとに一人2つずつ作ったたこを連ねた連だこによって競われました。この日は、あいにくの曇り空でしたが、風に恵まれ、1年生から3年生までの全9クラスが、連だこを空高く揚げることに成功。女子生徒の一人は「簡単に揚がって良かった。手こたえが強く、自分も飛ばされそうです」とたこ糸を操っていました。



### 驚きと歓声がいっぱい

#### みどり保育園の人形劇公演

園児の豊かな心をはぐくもうと1月21日、みどり保育園で「くるいぶびくくり箱」の皆さんによる公演が行われました。人形劇「トット・チッチ・ポッポ」や針金を使った演目などが上演されたこの催し。会場は、驚きと歓声に包まれ、公演後、園児の一人は「もう終わっちゃったの、もっと見たいな」と残念そうに話していました。びっくり箱の黒柳公子団長は「この人形劇で、頑張れば何でもかなうんだよってことが伝わってくれば」と目を細めていました。



### 生き生きとした演技に拍手

#### 西加茂郡老人クラブ芸能大会

生きがいを持ち、クラブ会員相互の交流を深めてもらおうと1月29日、西加茂郡老人クラブ芸能大会がサンアートで開催されました。今年で12回目となるこの大会には、町内から75人、全体で140人が参加。舞踊や民謡などで生き生きとした演技を披露し、会場からは大きな拍手が鳴り響いていました。コーラスグループのメンバーとして発表した深谷誠一さんは「手拍子も面白い、会場と一体となって楽しく歌うことができました」と充実感をかみしめていました。

